

第 9 章	社会(歴史)	名前:	日 付	No.02
	安土桃山			

[問題 1]

文中の()に適語を入れよ。

尾張の戦国大名であった織田信長は、1560 年に駿河の今川氏を(①)の戦いで破った。その後、足利義昭を将軍に立てて京都にのぼり、1573 年には義昭を追放して、(②)幕府をほろぼした。1575 年、(③)の戦いで、足軽鉄砲隊を使った集団戦法で武田氏を打ち破った。1582 年、信長は、家臣の明智光秀にそむかれて、(④)寺で自害した。

[解答欄]

①桶狭間	②室町	③長篠	④本能
------	-----	-----	-----

[解説]

1560年 桶狭間の戦いで今川義元を破る
 1571年 延暦寺を焼き討ち
 1573年 将軍足利義昭を追放→室町幕府滅亡
 1575年 長篠の戦いで武田氏を破る(鉄砲)
 1576年 安土城を築く(城下で楽市・楽座)
 1582年 本能寺の変で明智光秀に殺される



戦国大名の中で全国統一の願望をいだき、実行に移したのは織田信長であった。統一をなしとげるために数多くの合戦を戦ったが、その中で、試験によく出題されるのは、桶狭間の戦いと長篠の戦いである。尾張の小さな戦国大名であった織田信長は、2万5千という大軍で侵入してきた今川氏を、そのわずか10分の1の兵力で奇襲して、今川義元を討ち取り今川軍を破った。これが桶狭間の戦いである。その後、足利義昭を援助して京都にのぼって、将軍職につけたが、1573年には義昭を追放して、室町幕府をほろぼした。(以後情け(1573)無用と室町滅ぶ)

1575年、長篠の戦いで武田氏を打ち破った。右図の左側の鉄砲を使用しているのが織田方である。信長は川岸に柵を設けさせ、大量の鉄砲を使って一斉射撃をあげせかけて、当時最強といわれた武田の騎馬軍団を壊滅させた。1582年、信長は、家臣の明智光秀にそむかれて、本能寺で自害した。(一期の罰(1582)か本能寺)

[問題 2]

右図は、1575年に織田信長が徳川家康と組んで武田氏と戦ったときの様子である。

- (1) この戦いを何というか。
- (2) 織田信長が、足軽に持たせた武器は何か。

[解答欄]

(1) 長篠の戦い	(2) 鉄砲
-----------	--------



[問題 3]

地図中の①・②について説明した次の文を読み、もっとも関係の深い語句を書け。

- ① 信長が今川義元を破った戦い。
 ② 信長が明智光秀のむほんによってたおれた事件。



[解答欄]

①桶狭間の戦い	②本能寺の変
---------	--------

[問題 4]

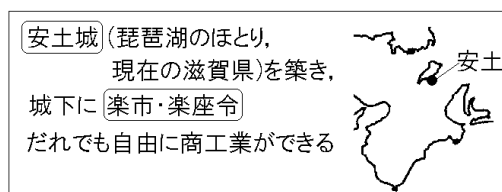
次の各問いに答えよ。

- (1) 信長が滋賀に築いた 5 層の天守閣をもつ城の名前は何か。
 (2) (1)の城は現在の何県に築かれたか。
 (3) 信長は(1)の城下町を発展させるために税などを免除する政策をとったが、何という政策か。

[解答欄]

(1) 安土城	(2) 滋賀県	(3) 楽市・楽座
---------	---------	-----------

[解説]



織田信長は、長篠の戦いの翌年、琵琶湖のほとりに 5 層の天守閣をもつ壮大な安土城を築いた。信長は城下に楽市・楽座令を出して、だれでも自由に商工業ができるようにした。室町時代以降、同業者の組合である座が増えたが、商人の座は、寺社や荘園領主に営業税を納める代わりに一定地域内の市場における独占的販売権を認められていた。楽市・楽座の政策は、このような座の特権を廃止して誰でも自由に商売ができるようにし、さらに営業税を免除することで、城下に商人をよびよせ城下町の経済的発展をめざしたものであった。また、当時、寺社や荘園領主が交通の要所に関所を設け、通行税を徴収していたが、信長はこれを廃止して、商工業の発展を図った。

[問題 5]

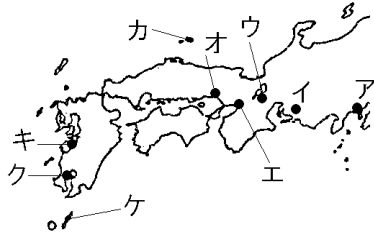
織田信長が行った「楽市・楽座」とは、どのような目的で何をしたことをいいますか。目的と内容を書きなさい。

[解答欄]

商工業の発展をはかるために、市場の税を免除し誰でも自由に商工業ができるようにしたこと。

[問題 6]

次の各文にあてはまる場所を地図中のア～ケから選べ。



- ① 秀吉は、ここに壮大な城を築き全国統一の拠点とした。
 ② 信長は、ここに城を築き、城下町に商工業者を集めて産業をさかんにした。

[解答欄]

① エ	② ウ
------------	------------

[解説]

1582年 本能寺の変
 → **豊臣秀吉**:明智光秀を倒す
 大阪城を築く
 1585年 関白になる
 1590年 全国統一

天下統一を目前にした織田信長は、1582年、家臣の明智光秀にそむかれて本能寺で自殺した。

豊臣秀吉(この当時は羽柴秀吉)は、いちはやく光秀を倒し、信長の後継者の地位についた。

秀吉は、大阪に壮大な**大阪城**を築いて本拠地とし、朝廷から**関白**に任命された。

秀吉は天皇から日本全国の支配権をゆだねられたとして、惣無事(全国の平和)をよびかけ、たがいに争っていた戦国大名に停戦を命じ、その領国の確定を秀吉の決定にまかせることを強制した。

この命令に従わなかった九州の島津氏などをせめて降伏させ、1590年には関東の北条氏を滅ぼして全国統一を完成させた。

[問題 7]

豊臣秀吉に関係の深いものを、下のア～オからすべて選んで記号で答えよ。

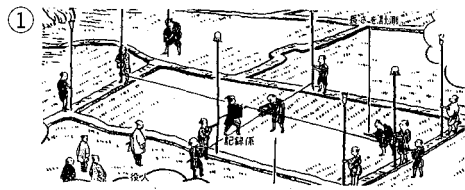
- ア 独自の分国法を定めた。
 イ 大阪城を築いた。
 ウ 金山などを開発し、天正大判を作った。
 エ 茶の湯を好み、千利休が仕えた。
 オ 全国統一をし、征夷大將軍に任命された。

[解答欄]

イ、ウ、エ

[問題 8]

下の①、②を見て各問いに答えなさい。



反対する者があつたら、城主なら城へ追い入れ、一人残らず皆殺しにせよ。百姓でも…なで切りにしてしまえ

② 諸国の百姓が刀・脇差・弓・槍・鉄砲その他武具を持つことをかたく禁止する。その理由は必要のない武具を持っていると、年貢を納めず、一揆を起こしたり、反抗したりしがちである。だから、領主や代官は百姓の持っている武具を全部取り上げて差し出せ。

(1) 豊臣秀吉の行った①(図)、②(資料)の政策をそれぞれ何といいますか。

(2) (1)の①、②の2つの政策が目的とするものは何か。漢字4字で書きなさい。

[解答欄]

(1)①太閤検地	②刀狩	(2) 兵農分離
----------	-----	----------

[解説]

太閤検地
検地帳、石高 → 荘園が消滅
刀狩り
一揆を防ぐため、兵農分離

豊臣秀吉は、全国の田畑の面積、土地のよしあし、耕作者を調べさせ、村ごとに検地帳をつくらせた。これを太閤検地という。収穫高は、全国どこでも同じ大きさの京ますではかり、石高で表すようにした。検地帳に記された農民は、その田畑を耕作する権利を認められたかわりに、定められた年貢を領主である武士に納めることになった。

これによって年貢収納が確実になり、荘園領主などがもっていた田畑に関する権利はすべて否定され、荘園は消滅することになった。

さらに、刀狩令を出して武士以外の者から刀・弓・やり・鉄砲などの武器を取り上げた。

刀狩と検地によって、農民の一揆などの抵抗を防ぎ武士と農民を区別する兵農分離をおしすすめた。